

先進的な文書情報マネジメントシステムの導入事例を表彰する 第9回 JIIIMA ベストプラクティス賞 発表

2015年8月25日

公益社団法人 日本文書情報マネジメント協会(JIIIMA)

日本文書情報マネジメント協会(略称; JIIIMA、理事長; 高橋通彦)は、57年にわたり文書情報マネジメントの普及啓発に努めている国内唯一の公認団体です。(主管は、経済産業省 製造産業局 産業機械課) マイクロフィルムの普及からスタートした活動は時代の変遷とともに変化し、現在では紙から電子の社会をめざして「文書情報マネジメントの普及啓発」の公益活動を続けております。

その一環として2007年(平成 19 年)より先進的な文書情報マネジメントシステムを導入し、顕著な成果を出された企業・団体に対して『ベストプラクティス賞』を設け表彰しております。

* 昨年までの授賞団体一覧は、裏面をご参考ください。

本年度第9回 JIIIMA ベストプラクティス賞は、審査委員会での厳正な審査の結果、以下の2事例に授賞が決定致しましたので、発表いたします。

株式会社ユアソフト(三井金属グループ IT 会社)

既存ワークフローを生かした「領収書」の電子帳簿保存法 スキャナ保存対応

同社では、名古屋国税局と相談を重ねて、既存のワークフローを利用しつつ、電子帳簿保存法で定められているスキャナ保存要件を満たす「領収書」の完全電子化運用を開始した。もっとも難しい「領収書」電子化に成功したので、三井金属グループ各社にも国税関係書類の電子化を促進してゆく道筋を構築した。

高速道路総合技術研究所(NEXCO 総研)

3年間に及ぶ高速道路維持管理資料のデジタル・マイクロアーカイブ化

同研究所では建設 CALS 等によって納品された電子データの長期保存対策のため ISO 規格に準じたデジタル・マイクロアーカイブの運用を導入し、NEXCO各社の負担の軽減を図りつつ、社会インフラ情報の長期安全保管を実現した。

表彰式及び受賞記念講演は、9月30日(水)15時から JIIIMA 主催『eドキュメント フォーラム』(東京有明 東京ビッグサイト 会議棟 7階 703会議室)で行われます。

[eドキュメント JAPAN 2015]

「クラウド・ビッグデータ時代の文書情報マネジメント—加速する紙から電子の社会—」をテーマに、9月30日(水)～10月2日(金)、東京ビッグサイトで開催いたします。

フォーラム会場では、政府の電子化促進の基本方針、大幅な規制緩和が実現した税務関係書類のスキャナ保存の最新市場動向など、34セッションのセミナーが行われます。

公式サイト <http://www.e-document.jp>

本件のお問い合わせは、下記にお願い致します。

JIIIMA 専務理事 長濱

E-mail nagahama@jiiima.or.jp TEL. 03-5821-7351

[裏面へ続きます]

【ご参考 今までのベストプラクティス賞 授賞事例】

- 2007 年 第1回ベストプラクティス賞
「みずほ銀行 カードローン申込書の e-文書法対応による完全電子化」
- 2008 年 第2回ベストプラクティス賞
「江東病院 紙カルテの完全電子化」
「神奈川県民共済生活協同組合 統合文書情報マネジメント(ECM)の実践」
- 2009 年 第3回ベストプラクティス賞
「東京海上日動火災保険 e-文書法による保険契約書の完全電子化」
「日本原燃 長期保存文書類の統合文書情報マネジメント(ECM)の実践」
- 2010 年 第4回ベストプラクティス賞
「大阪大学医学部附属病院 診療記録の完全電子化の実現」
「佐賀県庁 台帳記録管理システムによる業務改革」
- 2011 年 第5回ベストプラクティス賞
「(株)パソナでの ECM による監査対応システムの構築」
「富山大学附属病院での電子カルテ環境での紙文書の電子管理」
- 2012 年 第6回ベストプラクティス賞
「東京都豊島区 総合文書管理システム」
「伊藤病院 長期診療に対応する電子カルテと紙カルテの融合」
「日本飛行機 生産管理システムと連携した製造記録書の長期保存」
「日本水路協会 海洋の歴史的資料等のアーカイブ構築」
- 2013 年 第7回ベストプラクティス賞
「群馬銀行 国税要件による口座振替依頼書の電子化」
「戸田建設 作業所返納書類のデジタル・マイクロ化」
- 2014 年 第8回ベストプラクティス賞
「古野電気 貿易帳票管理システムによる輸出入帳票の電子化と法対応」